

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	京都府
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	野田川町立市場小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	1	2	2	1	1	11	21
児童数	46	41	38	44	53	34	3	259	

研究の概要

1 研究主題

「一人一人が意欲的に学び、主体的に考え、表現する児童の育成」(国語科)
 ~ 児童の瞳輝く授業の創造をめざして ~

2 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

国語少人数授業実施学年
 3・4・5・6年

昨年度は4～6年生で実施。今年度は昨年度の研究成果と課題を整理し、児童の実態等から少人数授業実施学年を決定。よりきめ細かな個に応じた指導を実施し、学力の充実・向上を図るため。

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 「一人一人が意欲的に学び、主体的に考え、表現する児童の育成」 ~ 児童の瞳輝く授業の創造をめざして ~</p> <p>研究の見通し(仮説) 仮説1 一人一人の児童の個性を理解し、個を生かす指導を充実することにより、児童は意欲的に学び、豊かな言語感覚や表現力を身に付けるであろう。 仮説2 児童自らが探究する授業の創造を通して、思考力や想像力が高まり、主体的に学ぶ力を身に付けるであろう。 仮説3 多様な言語活動の場を設定することで、既習の「言語能力」「表現力」「伝え合う力」がより豊かで確かになるであろう。</p> <p>研究の内容・方法(が重点) 一人一人が意欲的に学習する授業の在り方や教材の開発 自らが課題探究し、主体的に学ぶ力をはぐくむ指導の工夫 ・ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」と「言語事項」との相互関連を図った指導計画の作成・実施・改善 評価規準の作成と評価方法の開発 ・ 「総合的な学習の時間」との相互補完を図る表現活動の充実 ・ 総合的な表現活動の場の設定</p>
--------	---

平成15年度	<p>テーマ 「一人一人が意欲的に学び、主体的に考え、表現する児童の育成」 ~ 児童の瞳輝く授業の創造をめざして ~</p> <p>研究の見通し(仮説) 仮説1 一人一人の児童の個性を理解し、個を生かす指導を充実することにより、児童は意欲的に学び、豊かな言語感覚や表現力を身に付けるであろう。 仮説2 児童自らが探究する授業の創造を通して、思考力や想像力が高まり、主体的に学ぶ力を身に付けるであろう。 仮説3 個に応じたきめ細かな言語活動の指導を充実することにより、一人一人の児童が自分の言葉で思いや考えを伝え合うことができるであろう。 仮説4 多様な表現活動の場を設定することで、既習の「言語能力」「表現力」「伝え合う力」がより豊かで確かになるであろう。</p>
--------	--

	<p>研究の内容・方法（ が重点）</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が意欲的に学習する授業の在り方や教材の開発 発展的な学習や補足的な学習のための教材・教具の工夫・開発 自らが課題探究し、主体的に学ぶ力をはぐくむ指導の工夫 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「言語事項」との相互関連を図った指導計画（各学年指導内容の重点化を図った）の作成・実施・改善 評価規準等の見直し・検証と評価方法の開発 「総合的な学習の時間」との相互補完を図る表現活動の充実 総合的な表現活動の場の設定 「伝え合う力」をはぐくむ指導の充実 <p>* 昨年度の内容からの変更点 仮説3の追加により、研究内容を具体的に記述</p>
--	--

平成16年度	<p>テーマ 「一人一人が意欲的に学び、主体的に考え、表現する児童の育成」 ～ 児童の瞳輝く授業の創造をめざして～</p> <p>研究の見通し（仮説）</p> <p>仮説1 一人一人の児童の個性を理解し、個を生かす指導を充実することにより、児童は意欲的に学び、豊かな言語感覚や表現力を身に付けるであろう。</p> <p>仮説2 児童自らが探究する授業の創造を通して、思考力や想像力が高まり、主体的に学ぶ力を身に付けるであろう。</p> <p>仮説3 個に応じたきめ細かな言語活動の指導を充実することにより、一人一人の児童が自分の言葉で思いや考えを伝え合うことができるであろう。</p> <p>仮説4 多様な表現活動の場を設定することで、既習の「言語能力」「表現力」「伝え合う力」がより豊かで確かになるであろう。</p> <p>研究の内容・方法（ が重点）</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が意欲的に学習する授業の在り方や教材の開発 発展的な学習や補足的な学習のための教材・教具の工夫・開発 自らが課題探究し、主体的に学ぶ力をはぐくむ指導の工夫 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「言語事項」との相互関連を図った指導計画（各学年指導内容の重点化を図った）の検証・改善 評価規準等の検証と評価方法の工夫開発 「総合的な学習の時間」との相互補完を図る表現活動の充実 総合的な表現活動の場の設定 「伝え合う力」をはぐくむ指導の充実
--------	---

(3) 研究推進体制



